

■瀬戸特別支援学校(さくらんぼ学園)の再編に向けた取り組みについて

瀬戸市教育委員会(令和7年9月)

現状及び今後の取り組みなど

【長寿命化改良工事】

- これまで、瀬戸特別支援学校に通学する児童生徒の保護者をはじめ、学校、関係機関などとの意見交換や調整を適宜行いながら、小学部・中学部・高等部の統合に向けた校舎(現・萩山小学校)の長寿命化改良工事の設計業務を進めています。
- 令和8年度から、長寿命化改良工事に着手し、令和10年度の開校を目指して取り組みを着実に進めていきます。
- また、体育館については、校舎の長寿命化改良工事に合わせ、エアコン設置工事などを実施します。
- なお、校舎の長寿命化改良工事期間中については、保護者や学校から、「子どもたちの体調を考えると騒音が心配である」とのご意見をいただいたことから、現・原山小学校を仮設校舎(令和8年度及び9年度)として、学校活動を行っていく予定となっています。

【サウンディング型市場調査】

- 校地のグラウンド及びプールのエリアに余剰スペースが確保できることから、本市の政策・施策と保護者や学校からのご要望やご意見などを踏まえ、福祉施設や子育て支援施設といった特別支援学校との交流や連携が可能となる施設を併設することの可能性を探る「サウンディング型市場調査」を実施しており、2社の民間事業者から利活用の参加申込をいただいたところです。
- 今後は、民間事業者との対話を実施するなどした上で、本市として、民間施設設置の有無を含めた方針を決定します。その後、令和8年度には、事業者を選定し、施設・土地の契約手続きなど事業開始に向けた準備を進めていく予定となっています。

【開校時期】

- 新たな瀬戸特別支援学校の開校時期については、これまで令和10年9月(2学期)を予定していましたが、仮設校舎への移転により、長寿命化改良工事の期間が短縮されることから、今後は、令和10年4月を目指してまいります。

瀬戸市立特別支援学校(さくらんぼ学園)の主な役割

■増加する児童生徒の受け入れ

- 瀬戸市だけでなく尾張旭市及び長久手市の児童生徒が通学(児童生徒数は大きく増加 H22:27名⇒R5:69名)
- 愛知県立瀬戸つばき特別支援学校(知的障害) など

児童生徒数(R7.4.1現在)

団体	人数
瀬戸市	42人
尾張旭市	15人
長久手市	4人
合計	61人

■インクルーシブ教育の実践

- 菱野団地内の小中学校や高等学校との授業・行事での日常的な交流 など



【萩山小学校児童との交流】

*画像は加工しています。



【瀬戸西高等学校生との交流】

*画像は加工しています。

■関係機関との連携による手厚い支援

- 瀬戸市立のぞみ学園(障害児保育)との連携
- 瀬戸市立発達支援室との連携
- 校内に設置されている放課後デイサービスとの連携(校内放課後居場所事業)
- 地域医療機関との協力や医療的ケアの体制確保 など



■コミュニティ・スクール設置による小中学校及び地域との連携強化

- 小中・特別支援協働型のコミュニティ・スクール機能の設置 など

【学校・地域・大学等と連携したボッチャ大会】
*画像は加工しています。

新たな瀬戸市立特別支援学校の整備イメージ(予定)

■より良い学校づくりに向けて

- 保護者などとともに、他市町にある県立特別支援学校を視察し、より良い学校づくりに向けた取組を進めるための検討を行っています。
- 本年度は、校舎の長寿命化改良工事に係る設計業務を進めるとともに、防災拠点としてのあり方なども検討しています。
- 瀬戸特別支援学校では、個々の教育的ニーズに応じた教育を実践することにより、共生の意識と自己肯定感の伸張を図り、児童生徒一人ひとりが主体的に社会参加を目指す資質の育成を教育目標としています。

【主な整備内容(予定)】

■校舎

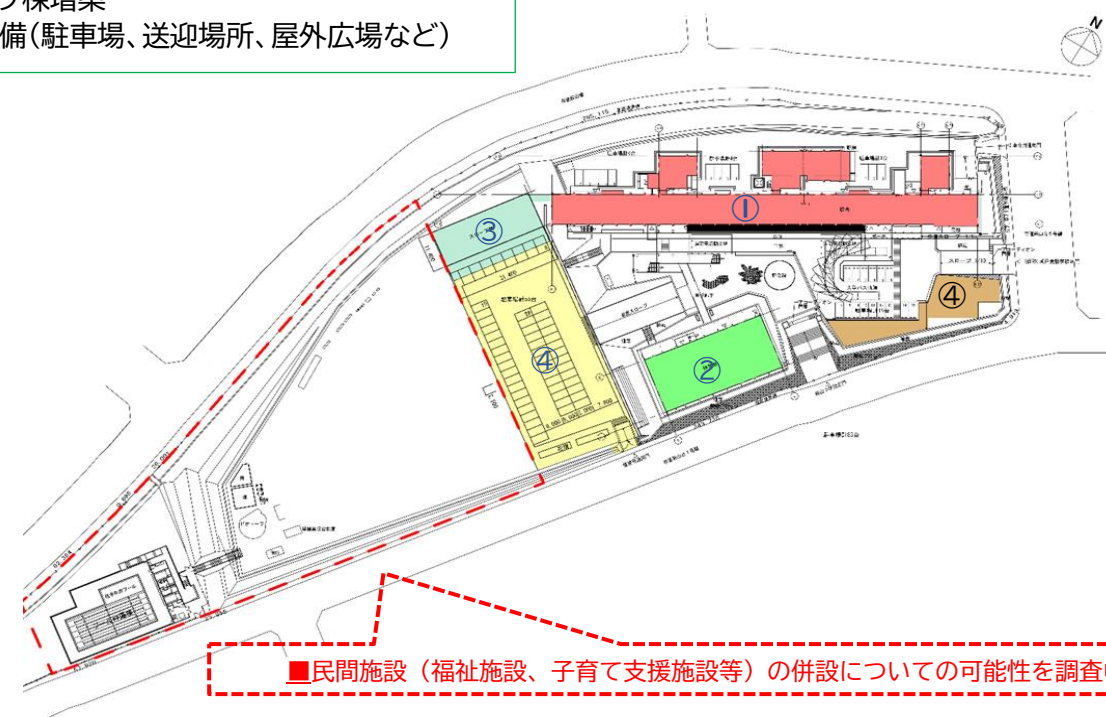
- ① 1階 : 長寿命化改良工事
- 2階・3階 : 特別支援学校の用に供する改修

■体育館

- ②空調設備設置、断熱・防水改修

■③スロープ棟増築

■④外構整備(駐車場、送迎場所、屋外広場など)



■民間施設(福祉施設、子育て支援施設等)の併設についての可能性を調査中

【菱野団地の学校再編に関する情報は、瀬戸市 HP で随時、更新しています】

学校再編に関するお問い合わせ: 瀬戸市役所 教育部 教育政策課

TEL: 0561-88-2750

E-Mail: kyoikuseisaku@city.seto.lg.jp